



平成 29 年 8 月 3 日

各 位

会社名 トピー工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 高松 信彦
(コード：7231 東・名証第 1 部)
問合せ先 総務部長 立花 修一
(TEL. 03-3493-0777)

異形鉄筋の新製品 コンパクトコイル (商品名：TACoil) の販売決定

当社は、このたび新製品として、異形鉄筋を高密度で巻き取ったコンパクトコイル (商品名：TACoil (ティーエーコイル)) を販売することを決定しました。今後、約 50 億円を投資して専用ラインを建設するとともに、鉄筋コンクリート用棒鋼の日本工業規格 (JIS G 3112) を取得し、2018 年秋に D10、D13、D16 の 3 サイズの販売を開始する予定です。

上記につきまして、添付のニュースリリースにて概要をお知らせいたします。

なお、本件による平成 30 年 3 月期の業績への影響はありません。

以 上

2017年8月3日
トピー工業株式会社

異形鉄筋の新製品 コンパクトコイル（商品名：TACoil）の販売決定
— 大幅な保管コストの低減と加工効率の向上を実現 —

トピー工業株式会社（本社：東京都品川区、社長：高松信彦、以下「トピー工業」）は、このたび新製品として、異形鉄筋を高密度で巻き取ったコンパクトコイル（商品名：TACoil（ティーエーコイル））を販売することを決定しました。今後、約 50 億円を投資して専用ラインを建設するとともに、鉄筋コンクリート用棒鋼の日本工業規格（JIS G 3112）を取得し、2018 年秋に D10、D13、D16 の 3 サイズの販売を開始する予定です。

現在、わが国では、東日本大震災復興や東京オリンピック・パラリンピック関連工事、都市再開発など、数多くのプロジェクトが進められており、それらの構造物では異形鉄筋が使用されます。しかしながら、現状の異形鉄筋の加工・組立には、保管に係るコストの低減や加工ロス、熟練鉄筋工不足への対応のための加工効率の向上などの課題があり、解決が求められています。

今回、トピー工業が販売を開始する TACoil は、外径約 1,200mm の高密度で巻き取ったコイル状の異形鉄筋で、縦に積み重ねることが可能であり、保管場所を直棒の 3 分の 1 程度にまで削減いたします。また、1 本通常 12m までの直棒に対し、本製品は約 2,000m（D13、2 トンの場合）あり、段取り時間の削減のほか、製品長を自由に設定できる NC 加工機の使用による加工ロスの削減と曲げ・切断作業の自動化を実現し、加工効率を大幅に向上いたします。現在国内で流通している鉄筋用バーインコイルと比較しても、ねじれが少なく、また、高密度であるため、加工効率、保管効率および輸送効率が向上いたします。



写真：製品サンプル

トピー工業は、中期経営計画「Growth & Change 2018」（G&C 2018）を推進中であり、TACoil の販売開始は G&C 2018 の施策である独自技術を生かした製品群の拡充の一環となります。トピー工業は、鉄鋼事業において、既存の棒鋼製品を生産するとともに、TACoil の安定供給体制を確立することにより、様々なお客様のニーズにお応えしてまいります。

【お問い合わせ先】総務部 広報・IRグループ TEL.03-3493-0777

【ご参考】



1. コンパクトコイルの概要

1) 商 品 名 TACoil

(ティーエーコイル 商標登録出願中)

2) サ イ ズ D10、D13、D16

3) 概略寸法等

外 径	高 さ	長 さ	重 量
1,100~1,300mm	500mm	D10 1,800m	1トン (2018年秋予定)
		D13 1,000m	
		D16 640m	
	800mm	D10 3,600m	2トン (2019年秋予定)
		D13 2,000m	
		D16 1,280m	

4) 特 長

- (1) 高密度でコンパクトなため、保管場所の省スペース化が可能です。また、輸送効率にも優れます。
- (2) NC加工機と組み合わせることで、細物サイズの加工効率を大幅に向上させ、人手不足の解消が可能です。
- (3) 加工時のロスを極限まで低減させ、歩留りの向上が可能です。
- (4) NC加工機との相性を考慮したななめ節を採用します。
- (5) 伸線して直棒として使用する際も、既存の異形鉄筋と同等の性能を保有します。

2. TACoil 専用ラインの概要

- 1) 設 置 場 所 愛知県豊橋市明海町1番地(トピー工業株式会社 豊橋製造所 棒鋼工場)
- 2) 投 資 額 約50億円
- 3) 新 規 設 備 建屋・クレーン設備、圧延設備、スプーラー設備、水処理設備、物流設備
- 4) 稼働開始 2018年秋(予定)

以 上